



## 板橋区

# オリンピックピックバリエーを板橋から発信！

豊島区から受け継いだ聖火ランナーが、板橋区内を駆け抜けるのは2020年7月19日。都内の自治体として初めて北区とともにJOCパートナー都市となった同区では、区民一人ひとりがオリンピックピックバリエーを無形のレガシーとして共有するため、区を挙げてスポーツの振興と教育に積極的に取り組んでいます。

### 長年の友人「イタリア」に 心づくしのおもてなしを

板橋区は、東京2020大会においてイタリアのホストタウンに登録されています。板橋区とイタリアの友好関係は遡ること39年前、1981年に板橋区立美術館において開催された「第1回ポロニーヤ国際絵本原画展」が始まりです。

この開催をきっかけに、板橋区とイタリアのポロニーヤ市の代表者が相互に訪問したり、ポロニーヤ見本市協会から児童図書の寄贈を受ける等、長きに渡る交流の結果、2005年に板橋区とポロニーヤ市は友好都市交流協定を締結しました。そして2018年、これらの様々な交流の積み重ね

が今回の協定締結に大きく寄与し、イタリアオリンピック委員会と「東京2020オリンピック競技大会期間前及び期間中トレーニングに係る協定」を締結。東京2020オリンピック競技大会期間前・期間中、イタリアバレーボールチーム男子代表・女子代表がともに区立小豆沢体育館を練習施設として使用することになりました。板橋区では2019年7月に誘致記念事業の一環として、区出身で元バレーボール女子日本代表選手の落合真理さんを講師に招き、同体育館で小学生対象のバレーボール教室を開催。同年イタリアのホストタウン登録が決定し、イタリアとの友好の歴史がさらに深まることとなりました。



小学生を対象としたバレーボール教室

板橋区ではホストタウン登録決定後、クリアファイルの作成・配布や、本庁舎への横断幕・懸垂幕の掲示など、区民への周知を図っています。また、東京2020大会開催までには区民を中心にした「板橋区イタリアバレーボールチーム応援ボランティア」を結成し、イタリアバレーボールチームの応援や会場運営等のサポートを行っていく予定です。

2020年は、ポロニーヤ市と友好都市交流協定を結んで



イタリアバレーボールチームの紹介パネル等を展示

からちょうど15周年を迎えます。1月には本庁舎1階のイベントスクエアにて、イタリアバレーボールチームの紹介パネル等を展示した「イタリアバレーボールチーム応援イベント Vola! ITALIA」を夏に開催し、区民の応援機運も日を迫る毎に高まってきています。夏を迎える頃にはきっと、古くからの友人であるイタリアを「オーラ板橋」としてサポートする

機運が最高潮に達して、強豪イタリアバレーボールチームが躍進する大きな力となることでしょう。

### 都内初！JOCパートナー 都市協定締結

日本初のトップレベル競技者用トレーニング施設として設置された味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）の最寄り駅が、区内の都営三田線板橋本町駅や本蓮沼駅ということもあり、板橋区はトッ

プアスリートとの関わりが深い区でもあります。以前よりスポーツイベントやスポーツ教室を実施し、トッパアスリートと区民との交流に注力していますが、2015年からは「JOCオリンピック教室」もスタートしました。これは（公財）日本オリンピック委員会（JOC）がオリンピック・ムーブメントの普及・啓発活動として取り組んでいる事業の一つです。区内の中学2年生を対象に、オリンピックが教師役

となり、自身の様々な経験を通して「オリンピックイズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値がオリンピックのものだけでなく、多くの人が共有し日常生活にも活かすことのできるということを教えています。これまでに教師役となったのは、スキー、水泳、バドミントン、バスケットボール、陸上競技、ソフトボール等、様々な競技のオリンピック。まさに頂点を極めたアスリートが、運動が苦手な生徒も参加できるように工夫された授業を行っています。

そして、スポーツの振興や教育に意欲的に取り組む板橋区は、都内の自治体としては初めて、2019年に北区と共に「JOCパートナー都市協定」を締結しました。この協定により板橋区では、JOCと連携したオリンピック・ムーブメント推進事業を、継続的かつ長期的に実施することとなります。同年9月に開催された「2019オリンピックデーラン板橋大会」も、都内の自

治体が主体となって実施するのは初めてのこと。区内外から集まった多くの参加者が、オリンピック実施競技体験や10名のオリンピックアンによるトークショーなどを楽しみ、ウォーキングで汗を流しました。



JOCパートナー都市協定締結式  
（左：板橋区長 右：山下JOC会長）

NTC周辺道路も北区と共同でバリアフリーへと整備を進め、パラリンピアンを迎える準備も万端です。2018年には、AR（拡張現実）や360度VR動画を取り入れ、まちの回遊性を高める板橋区観光アプリ「ITIAーマニア」をリリースしました。このアプリは区内の観光スポットや飲食店、公共施設など約300か所を掲載し、条件を入力するとその日の気分に合わせた散

策コースを自動作成することができ、多言語にも対応し、WiFiの繋がらない場所でもルート検索ができるオンラインマップ機能もあるため、増加する外国人観光客に板橋区の魅力を発信するツールとしても大活躍するのではないのでしょうか。

板橋区は、東京2020大会終了後も持続可能な価値の創出、オリンピック・ムーブメントの推進・普及啓発、スポーツを核としたまちづくりを展開しています。



オリンピックデーラン板橋大会での記念撮影  
提供：JOC

